

連合徳島ユースターNEWS

(2025 年度 第 1 号)



9 月となり暦の上では秋になっておりますが、実際のところではまだまだ暑い日も続き、徳島でも穴吹のあたりでは連日 30 度を超え 35℃に迫る勢いでまだまだ暑さ対策が欠かせない日が続いております。夏の疲れなどが出てくる時期かと思いますが、みなさん体調管理に気を付けて、水分補給と十分な休息をとりながら仕事や様々な活動に取り組んでいきましょう。

さて、前回総会特別号の発行から、少し間が空きましたが、ユースターNEWS2025 年度第 1 号を発行させていただきます。

今号では、新体制が始動してから 7 月までの主な活動について簡単に報告させていただきます。

また、その中でもトピックスとして 4 月 5 日に開催の「春季学習研修会」の研修レポートを掲載しております。7 月に実施された参議院委員選挙に関連して、参議院議員である広田一様にも参加いただき、充実した内容の研修となっておりますので、ぜひご一読ください。

【経過報告】

①「青年委員会 第 1 回幹事会」 (2025 年 1 月 16 日)

●新メンバーでの最初の幹事会ということで 6 名の青年委員に参加いただき、2025 年度の活動の目的や活動体制、年間活動計画について確認を行いました。また、春季学習研修会の内容について議論を行い、政治の場で決まっていることがどのように我々の生活に影響を及ぼしているのかについて講演いただくことを決定しました。

②「第 45 回 部落解放・人権徳島地方研究集会」 (2025 年 1 月 27 日 28 日)

●あわぎんホールにて、開催されました。青年委員会からは 3 名が司会対応、受付対応等の任務を担当いたしました。

③「青年委員会 第 2 回幹事会」 (2025 年 2 月 18 日)

●本幹事会においては 4 月 5 日に開催されるイベントの対応の確認を行いました。

④「2025 春闘総決起集会」アピール文の読み上げ (2025 年 2 月 27 日)

●徳島グランヴィアホテルで開催されました。青年委員長が集会に参加し、アピール文の読み上げを実施しました。

⑤「2025 春季学習研修会」 (2025 年 4 月 5 日)

●「私たちのくらしと政治」をテーマに連合本部の照沼氏を講師に招き講演いただきました。レポートは別掲いたしますが、多数のご参加ありがとうございました。

⑥「青年委員会 第 3 回幹事会」 (2025 年 4 月 24 日)

●本幹事会においてはメーデーや夏以降開催予定のイベントの確認を行いました。

⑦「第 96 回 徳島中央メーデー」 (2024 年 5 月 1 日)

●本年からは場所をあわぎんホールに移しメーデーが開催されました。コロナの影響で長らく出来ていなかった行進も久々に復活しシュプレヒコールを担当させていただきました。

⑧「青年委員会 第 4 回幹事会」 (2025 年 7 月 23 日)

●本幹事会においては夏以降に開催されるイベントの対応の確認、秋の学習会の内容についての検討を行いました。

【2025 年度 春季学習研修会レポート】

2025 年 4 月 5 日に労働福祉会館において青年委員会の 2025 年度春季学習研修会が開催されました。連合本部より政治センター事務局局長である照沼光二様をお呼びして「私たちの暮らしと政治」というテーマで講演いただきました。それと合わせて、現参議院議員でもある広田一様にもお忙しい中参加いただき、実際の取り組みについても熱く語っていただきました。

それぞれのお話について、参加いただいた青年委員より感想をいただいておりますので、報告させていただきます。

<青年委員 中山龍児>

「私たちの暮らしと政治」講演について

政治についての振り返りや様々な問題を話していただきました。

その中でも興味を引いたのは選挙投票状況についてです。世代別にみても 20 歳代と 60 歳代で 2 倍近くの差がついていたのが驚きでした。18 歳から選挙ができるようになりましたが、若い世代、特に 20 歳代から 30 歳代の投票状況が悪く目につきました。

「政治とカネ」のように政治不信が蔓延し、どうせ変わらない、選挙に行くだけ無駄、そんな空気感が若い世代には感じられている証拠だとグラフを見て考えました。

また、海外だとインターネット投票が進んでいたりするとのことでしたが、年々投票する世代が上がっているグラフを見ました。便利だからとインターネット投票を取り入れるだけでは不十分で政治に対して興味を持つ、どうすれば選挙に行くのかという問題を各家庭レベルで落とし込む必要があると感じました。

「広田一報告会」について

ガソリンについての話、賃上げの話と自分たちの生活に直結する話を聞いた。話を聞くほど今、自分たちの生活が苦しくなるばかりだと再確認しました。自分たちの声を正しく政治に反映してもらうためにも、どこの政党、だれを自分たちの代表として送り出すか、その大切さを知れました。今年の 7 月にある参議院議員選挙では徳島、日本をより良くするためにも、周りにも声をかけ、投票に参加します。

そのほか、今回の公演について参加者に感想や要望などアンケートをお願いしました。

その中から一部抜粋して、ご意見を報告したいと思います。

<講演について>

- ・報道内容と違う視点で民主党の話や連合の方針が聞けて勉強になりました。主権者教育について、家庭の中で政治について話をするとところから始めたいと思いました。
- ・生産年齢人口の方、年少人口の方の意見を政治に届ける時、人口の違いで率だけでは難しいということを知った。20 代の方の 80%が投票すれば 60 代の方にもまけず、自分たちの声を政治に届ける事ができるとなると、若年層のツールでもあるインターネットも活用していければと思いました。
- ・二大政党的体制で緊張感あるクリーンな政治になるとと思いました。
- ・現状について改めて分かった。投票に行くことの意義を自分で理解するだけでなく周りへも（同世代）広げていく必要があると感じた。

<広田一報告会について>

・政治とは税金の使い方という言葉が本当にそのとおりだと思いました。各自治体によって必要としている行政サービス等が違ったり、必要とする税額も違うと思いますし、地方だからといってそこに住む人たちを無視するような税金の使い方は良くないと思いました。

・東日本震災の被害をくり返さないため取組みには共感するところがありました。ガソリン減税についても、特に地方（車社会）には必要だと思う。

・「税金の使い道を明らかにすることで政治を変えられる」という言葉が印象に残りました。

・「政治を変えるというのは税金の使い方を変える」というのが政治を変えるという漠然としたものがみえたような気がした。

・「くらしに寄り沿う政治を。」「教育や福祉に光をあてる。」「税金の使い道を変える・考える。」と力強いお話を聴いてますます支援を広げたい気持ちになった。

このほか、現在起こっている身近な課題や青年委員会に対するご意見もいただいております。

それらの意見は今後の学習会などの参考にしていきたいと思いますので、今後とも皆様のご参加とご協力をお願いいたします

さいごに

私事ではありますが、この9月から四国から関東に転勤することになり、連合徳島青年委員会委員長として十分に活動に参加できない状態になりました。

前任者の跡を継いでまだ、1年半と短い間ではありましたが、通常の業務や組合活動では経験できない様々な人との出会いやイベントへの参加など貴重な経験ができたと考えております。

生活する場所は変わり青年委員という立場ではなくなりますが、これからも一組合員として新しい場所で積極的な活動が出来ればと考えております。徳島の青年委員会の皆様も急な話でご迷惑をおかけしますが、メンバーみんなの力を合わせて、青年委員会活動を盛り上げていってください。

連合徳島 青年委員会委員長 藤井一記

